

総合的な学習の時間「地域探究」冬組



前日までの寒波の影響が心配されましたが、1年生総合的な学習の時間「地域探究」後半の冬組（3組、4組、7組、8組）が、1月21日（木）の午後、まだ少し雪の残る朝日遺跡（貝殻山貝塚資料館）と信長が居城とした清洲城（平成元年天守閣再建）を見学に行きました。「朝日遺跡—清洲城」を訪れ、県教育委員会生涯学習課文化財保護室の方や清洲城ガイドボランティアの方の説明を聞きながら見学しました。

このあと、まとめの時間を経て3月3日（木）が成果の発表になります。10月に訪れた秋組（1組、2組、5組、6組）の発表は素晴らしいものがありましたが、それに負けないくらいの発表を期待しています。

朝日遺跡（貝殻山貝塚資料館）→清洲城

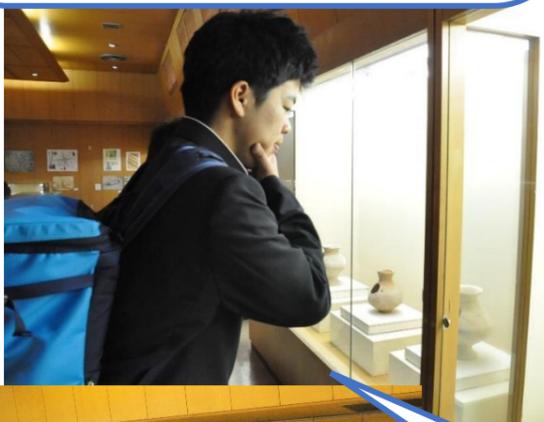
まずは弥生時代といえば「火おこし」。寒い日でしたが、体も温まったことでしょう。



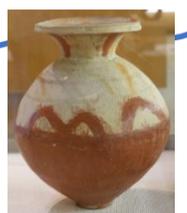
雪の残る竪穴住居。趣がありますが、出てきたのは弥生人ではなく…



弥生時代後期の尾張地方を代表する赤い土器。ギリシャのクレタ島から出土した「宮廷(きゅうてい)式土器」にも匹敵する美しさからパレス・スタイルと呼ばれています。土器の表面は白く、櫛描き(くしがき)や刺突(しとつ)による文様を描き、それ以外の部分が赤く塗られています。



写真は、文化財保護室原田幹主直が、農作業や土木作業に用いられたスキとクワ(もちろんしづり力ですが)を使いながらの説明しています。



円窓付土器の前で君は何を思う…



清洲城→朝日遺跡（貝殻山貝塚資料館）



どのように鎧兜を身に付けていったのかがよくわかりますね。女子生徒の甲冑姿もなかなか乙ですね。しかし、「いざ！」とか言って刀を抜こうとして叱られていたとか…

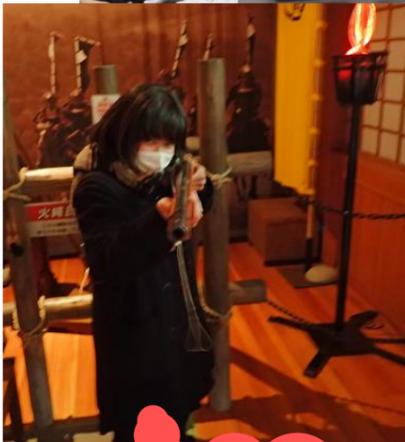
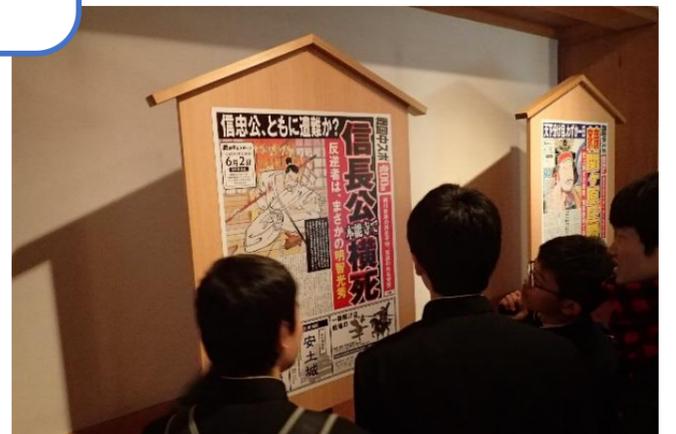
慶長5(1610)年、徳川家康により、名古屋城築城が開始され、そのまま清洲城と城下町がそのまま名古屋に移転しました。これが「清須越し」。そのため、清洲城下と名古屋城下では、御園、五条橋、巡礼橋など55の共通する地名や橋、川などの名称があります。お城の石垣も全て名古屋へ移ってしまったのですが、五条川災害復旧工事の際に、一部発見され、本丸石垣を復元しています。



黒木書院でガイドボランティアさんの講義を受けます。



火縄銃の説明です。実際に、10月の信長まつりでは、清洲城の大手橋で実演があり、なかなか見ものです。



↑ 撃つまねだけです！

↑ 今年の信長まつりは小雨の中でした。